



Mr - F u k u o k a N E W S

ふくおか水救会だより

16号



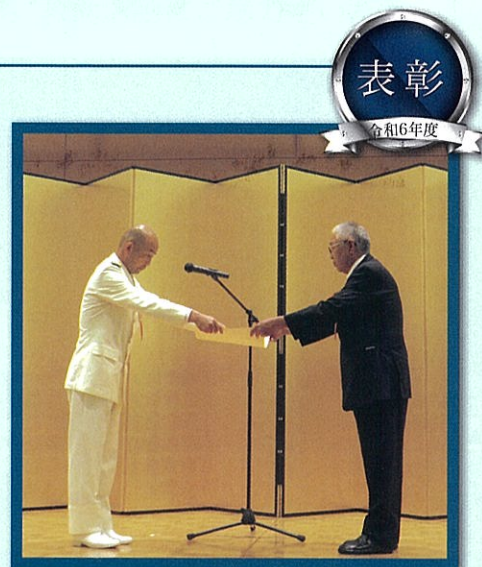


令和6年度 福岡県水難救済会活動報告

海の日表彰(令和6年7月17日)

海上保安庁より、多年にわたり水難救済会のボランティア事業に携わり、水難救済思考の普及活動・救済業務の発展に尽力された等の功績が称えられ受賞されました。

表 彰 名	所 属	表彰者氏名(敬称略)
海上保安庁長官表彰	岐志新町	岡崎 敦能
海上保安庁長官表彰	津屋崎	永島 栄
海上保安庁長官表彰	津屋崎	間 利夫
第七管区海上保安本部長表彰	津屋崎	井ノ上 靖基



▲海上保安庁長官表彰 岐志新町救難所 岡崎 敦能

参加会議・式典など

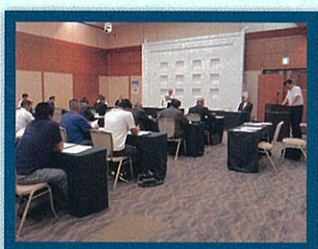
開催日	会議名など	場所	会議事項など
4月9日	令和5年度決算監事監査	局災害対策室	野上・島田監事
4月19日	第1回理事会	書面審査	令和5年度事業報告・収支決算(案)
4月25日	長崎県水難救済会総会	ホテルニュー長崎	会長、事務局長
5月16日	第23回定時総会	博多サンヒルズホテル	令和5年度収支決算(案)、役員の選任(案)
5月17日	日本水難救済会第1回理事会	海事センタービル	会長
5月28日	佐賀県水難救済会総会	唐津市水産会館	会長、事務局長
6月2日	福岡県総合防災訓練	田川市田川中央公園	金丸理事
6月8日	築上町水難救助隊点検式	築上町中央公民館	金丸理事
7月6日	臨時理事会	博多サンヒルズホテル	百周年事業に向けた取り組みについて
7月6日	救難所長会議	博多サンヒルズホテル	海難救助訓練実施要項について
7月17日	「海の日」表彰式典	プレミアムホテル門司港	別記「海の日」表彰者
10月17日	日本水難救済会第2回理事会	海事センタービル	会長
12月3日	第2回理事会	博多サンヒルズホテル	救難器具準備金の積立限度額及び計画期間等の改正、職務執行状況報告
3月11日	第3回理事会	博多サンヒルズホテル	令和7年度事業計画(案)、収支予算(案)
3月13日	日本水難救済会第3回理事会	海事センタービル	会長



▲令和5年度決算監事監査



▲第23回定時総会



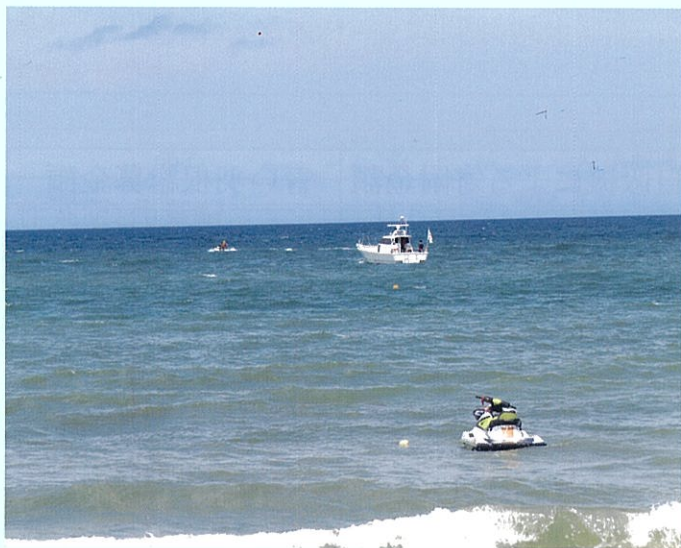
▲救難所長会議



▲第2回理事会

救助訓練

海難救助訓練は、3救難所にて実施できました。



神湊救難所:福津市福間海岸にて実施

令和6年7月8日 福岡海上保安部主催による
官民合同の海難救助訓練
86名(うち救難所員18名)参加



相島救難所:相島港周辺にて実施

令和6年7月15日 浸水船排水訓練、
火災船消火訓練、救命索発射訓練
16名(うち救難所員16名)参加

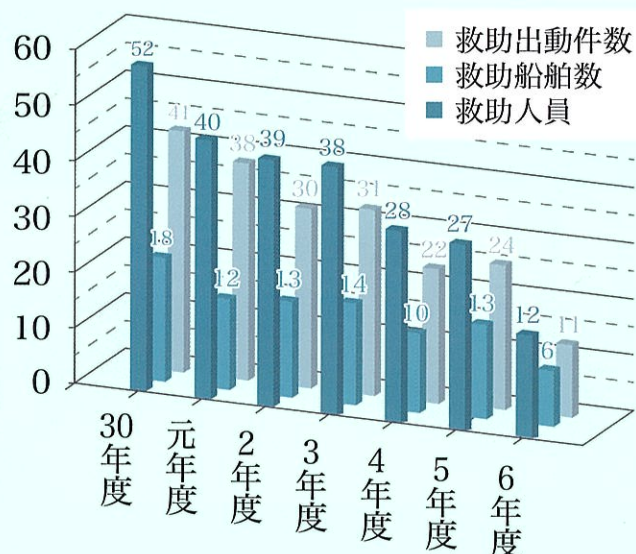


苅田救難所:北九州空港事務所にて実施

令和6年11月8日
通報訓練、実動訓練
250名(うち救難所員1名)参加

救助実績(令和7年2月末現在)

令和6年度救助出動実績は、出動件数**11**件、
救助船舶数**6**船、救助人員**12**名でした。





青い羽根募金関連報告

いつも、募金へのご協力、
誠にありがとうございます。



青い羽根募金・支援自販機寄附金額

令和7年2月末現在

年度	内訳	青い羽根募金額	支援自販機による寄附金額	青い羽根総募金額
平成28年度		2,476,083円	3,020,352円	5,496,435円
平成29年度		2,553,257円	3,315,343円	5,868,600円
平成30年度		2,496,194円	3,220,884円	5,717,078円
令和元年度		2,931,109円	3,560,876円	6,491,985円
令和2年度		2,533,726円	2,869,252円	5,402,978円
令和3年度		2,471,380円	2,430,640円	4,902,020円
令和4年度		2,480,860円	2,876,622円	5,375,482円
令和5年度		2,624,565円	2,705,188円	5,357,482円
令和6年度		2,315,848円	2,548,490円	4,864,338円

※現在、青い羽根募金箱は県内10ヵ所、支援自販機は県内42ヵ所で設置ご協力いただいています。

新設救難所

令和6年4月1日より新しく入会していただきました。
大里(だいり)救難所、旧門司救難所として活動します。

▼大里救難所



▼旧門司救難所



救難資器材整備

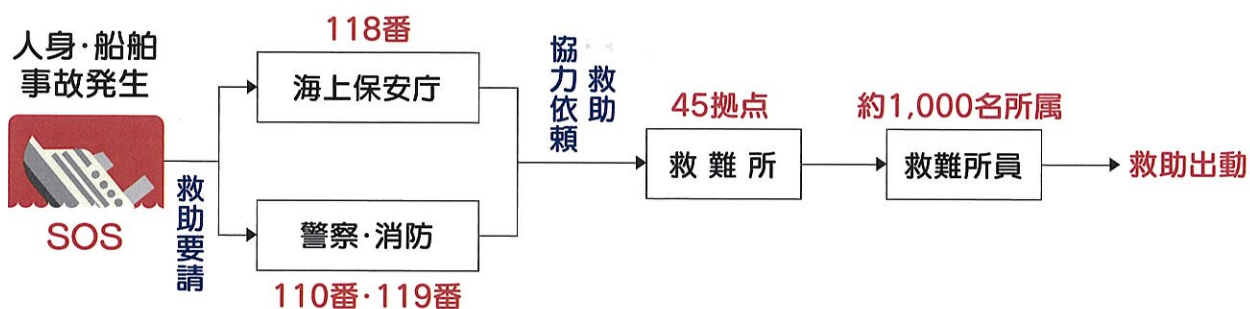
下表の資器材を各救難所に配布し救難資器材の整備を図り、救命浮輪(名入り)を福岡県県土整備部河川管理課へ寄贈しました。

品名	数	対象救難所等
作業服、作業帽	106	神湊、鐘崎、芥屋、船越、築上町、岐志新町、地島、大里、姫島、長浜、相島
強力ライト	32	能古、相島、地島、平松
膨張式胴衣(名前入り)	46	津屋崎、地島、長浜
ナイロンロープ	1	長浜
携帯用拡声器	1	地島
救命浮輪(本体のみ)	4	芥屋、脇田
救命浮輪(名入り)	88	福岡県県土整備部
救急セット	4	能古、芥屋、地島、築上町
消火器(船舶用)	1	地島
毛布	6	西浦、芥屋
もやい銃空砲	6	姫島
救難所看板	2	大里、旧門司
自動体外式除細動器(AED)	14	岐志新町、築上町、芥屋、小呂島、長浜、弘、姫浜、柏原、波津、芦屋、有明マリン、宇島、志賀島、能古



救難所員出動の流れ

素早く救助に向かえる、この仕組みに救われている命があります。





令和6年度 青い羽募金表彰先紹介



日本水難救済会会長表彰／4団体(敬称略)

福岡県

福岡県警察本部

糸島市

若築建設株式会社九州支店



福岡県 様



福岡県警察本部 様



若築建設株式会社 様

福岡県水難救済会会長表彰／13団体(敬称略)

筑紫野市

大野城市

宗像市

添田町

第七管区海上保安本部

陸上自衛隊小倉駐屯地

航空自衛隊芦屋基地

航空自衛隊築城基地

陸上自衛隊福岡駐屯地

陸上自衛隊久留米駐屯地

陸上自衛隊小郡駐屯地

東洋建設株式会社九州支店

一般財団法人福岡県消防協会



筑紫野市 様



宗像市 様



第七管区海上保安本部 様



陸上自衛隊久留米駐屯地 様



陸上自衛隊小郡駐屯地 様



一般財団法人福岡県消防協会 様

※写真は令和5年度表彰分

支援自販機・青い羽根募金箱設置協力先紹介のお願い。

当救済会では(公社)日本水難救済会指導のもと、青い羽根募金運動を行っているところであり、その一環として青い羽根募金支援自販機(売上の一部を寄附金にあてていただく)設置拡大に努めているところです。

令和7年2月末現在、県内に42台を設置し、海難救助活動を側面から支えていただいています。

支援自販機設置拡大に関し、より一層のご協力をお願いします。

設置先
ご紹介ください



支援自販機設置協力先

- | | | |
|------------------|------------------|----------------------|
| 1 海峽釣り公園 | 14 豊築漁協椎田町支所 | 27 脇田漁港フィッシャリーナ |
| 2 唐泊漁港 | 15 豊築漁協椎田町宇留津 | 28 相島漁協 |
| 3 道の駅むなかた | 16 日本コークス工業(株) | 29 大島漁協 |
| 4 メイトム宗像 | 17 白島国家石油備蓄基地事務所 | 30 七管北九州航空基地 |
| 5 三池港駐車場 | 18 大和漁業協同組合 | 31 宗像市役所 |
| 6 北九州エアターミナル | 19 岐志観光休憩所 | 32 宗像漁協 鐘崎本所 荷さばき所 |
| 7 三菱ケミカル(株)福岡事業所 | 20 福岡マリナー | 33 芥屋第2駐車場 |
| 8 宗像漁協 鐘崎本所 製氷工場 | 21 新宮町バス待合所 | 34 福吉しおさい公園 |
| 9 県議会棟待合室 | 22 若築建設(株)資料館前 | 35 コスモ海洋(株) |
| 10 福岡市消防局 | 23 うみんぐ大島 | 36 (株)若港 |
| 11 鐘の岬活魚センター | 24 岐志新町漁港 | 37 (株)若港 刈田事業所 |
| 12 ホテル・ザ・ルイガンズ | 25 神湊市営渡船ターミナル | 38~42 若築建設(短期設置・伊藤園) |
| 13 日鉄ビジネスサービス(株) | 26 道の駅みやま | |

※工事終了次第撤去予定のため地図の番号は省略しています。

青い羽根募金箱設置協力先

- | | |
|---------------------|------------------|
| ① オルゴールミュージアム門司港 | ⑥ 福岡県民火災共済生活協同組合 |
| ② 若築建設九州支店 | ⑦ 船越救難所 |
| ③ 北九州空港(北九州エアターミナル) | ⑧ 藍島救難所(2ヶ所) |
| ④ 相島救難所 | ⑨ 七管北九州市航空基地 |
| ⑤ 糸島漁協船越支所 | |

現在、支援自販機42台、
青い羽根募金箱10個、
設置のご協力を
いただいています。
令和7年2月末現在



「ご挨拶」

県内45ヶ所の救難所員の皆様におかれましては、本業の傍ら、救助活動にご尽力をいただいていることに対し、心から敬意を表します。

また、福岡県をはじめ、多くの団体、関係者の皆様のご支援に、そして海難救助訓練等にご指導をいただいている第七管区海上保安本部の皆様に感謝を申し上げます。

本会では、公益社団法人日本水難救済会主唱のもと、「青い羽根」募金活動に7・8月の強調運動期間を中心として取り組んでいます。また、この募金活動の一環として「支援自販機」の設置について、市町村、関係機関、企業団体等に多大なご協力をいただいております。この募金により毎年、救命胴衣、救命浮輪、ロープ等の購入や自動体外式除細動器(AED)の配備をはじめ、救助訓練経費及び救助所員への災害補償積み立て等の貴重な財源として活用させていただいているところであります。

継続的な事業実施のため、今後とも青い羽根募金活動に積極的取り組み、福岡県沿岸における海難救助活動を推進し、救難所員の皆様が活動しやすい環境づくりに努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人
福岡県水難救済会
会長 今林 久

編集後記

令和6年4月1日から北九州地区の大里と旧門司2ヶ所が新たに救難所として入会されました。福岡県内45ヶ所の救難所体制となりました。

今後とも、事務局では救難所の活動が円滑に行われるよう、努力してまいりますので、よろしくお願い致します。



毎年、7月1日～8月31日を「青い羽根募金強調運動期間」と定め、募金への協力をお願いしています。ご協力いただいた方へお礼に、「青い羽根(写真参照)」をお渡ししています。



福岡県水難救済会は海難事故に遭った方々の救助を行うボランティア活動を支えるための団体です。



公益社団法人

福岡県水難救済会

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7-3F(福岡県防災危機管理局内)

TEL:092-631-1416(直通) FAX:092-402-9955 Mail info@mr-fukuoka.or.jp Web <https://mr-fukuoka.or.jp>

